

南っ子



令和2年10月26日
直方南小学校
校長 花田 裕美子

行事が子ども達を成長させる



あお そら はいけい こうてい いちよう は うつく かがや きせつ
青い空を背景に校庭の銀杏の葉が美しく輝く季節になりました。

ひごろ ちいき みなさま ほごしゃ みなさま ほんこうきょういっかつどう りかい きょうりよく ところ かんしゃ
日頃より地域の皆様、保護者の皆様には本校教育活動にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

がっき かんせんしやうたいさく がっこうきょういく とりくみ はんい くふう きょうじ じっし
2学期からは、感染症対策をしながら、学校教育の取組をできる範囲で工夫し、行事を実施
してあります。今月の初めには、5年生の自然教室を実施しました。初めての場所、初めての5年生
のみの泊宿泊体験でした。宗像市の玄海少年自然の家は、海の近くであること、世界遺産に
ふれあえること、大島へ船で渡っての山登り、キャンドルの集い、夜の海岸散策でのカニ発見、
のこぎりで丸太を切る体験など、普段では味わえない様々な体験ができました。自然教室に行く
前から5年生の子ども達は、自然教室に対する自分のめあてや心構えをしっかりとっていました。

じぶん かんが こうどう もくてき む ほん きょうりよく こうどう すがた
そのため、自分で考え、行動し、目的に向かって班で協力して行動している姿が、とても
素晴らしかったです。学校に戻ってから自信をもって生き生きと行動する姿が見られ、成長を
感じ、とても嬉しく思います。このまま、とどまることなく、もどることなく、6年生に向かって、次の
南小のリーダーとなるために、ぐんぐん成長してほしいと思います。保護者の皆様には準備や
体調管理などご心配をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。



たいりよく しゅうかい む たてわ ほん とりくみ はじ
体力づくり集会に向けて、縦割り班の取組が始まっています！

みなみしょう せいちょう とりくみ たてわ ほんかつどう こんねんど がっき たてわ
 南小の子どもたちを成長させる取組の一つに縦割り班活動があります。今年度は、2学期から、縦割り
 はんあそ たてわ はんきゅうしよく はじ いま たいりよく しゅうかい たてわ ほんおなわと れんしゅう がんば
 班遊び、縦割り班給食を始め、今は、体力づくり集会の縦割り班大縄跳びの練習を頑張っています。

ひるやす
 昼休みになると、6年生の子ども達が、1年生を迎えに来て、晴れた日は運動場で、雨の日は体育館で
 れんしゅう まいにち きょう
 練習をしています。毎日、「今日は、〇〇ちゃんがとべるようになったよ」「最高記録が出たよ」などの声が
 き かがねん かた せなか お おし さいこうきろく
 聞かれます。低学年の肩や背中をそっと押して、タイミングを教えたり、跳びやすいように縄の回し方を
 ちようせつ じようがくねん すがた と じぶん よろこ ほん なかま ほんとう
 調節したりする上学年の姿、「やった！跳べたね」と自分のように喜ぶ班の仲間たち。本当にほほえましく、
 こ
 たのしい子ども達です。

がつ にち む こうがくねん かくいんかい やくわりぶんたん しゅうかい きかく うんえい たてわ
 11月8日に向けて、高学年が各委員会の役割分担もしながら、集会を企画、運営をしていきます。縦割り
 はん リーダーとして、いいんかいのリーダーとして、みなみしょうのリーダーとして、6ねんせい ちゅうしん 5ねんせい
 班のリーダーとして、委員会
 それを支えながら、低学年も自分たちはどうすれば良いか考えて活動していきます。さらなる子ども達の
 せいちょう たの
 成長が楽しみです。



みんなで大縄に入るタイミングを教えたり、励まし
 あ
 合ったりしています。

れんしゅう あと 6ねんせい ちゅうしん ふ かせ
 練習した後は、6年生が中心となって、振り返りをして
 います。みんな真剣に話し合い、グループの協力や、
 おおなわと じようたつ たいりよく たか
 大縄跳びの上達とともに、体力も高めていきましょう。



うれしいあいさつ！



「あいさつカード」・・・うれしいあいさつをしている子どもたちに
 カードを渡しています。

あいさつにも元気なあいさつ、ていねいなあいさつ、めをみて
 あいさつ、えがおであいさつ、大きな声であいさつ、立ち止まって
 あたま さ さいがく さいがく さいがく さいがく
 頭を下げてあいさつ、丁寧なお礼、丁寧な受け答え、気持ちのいい
 う 受け答え、、、いろいろあります。そんな思いやりのあるやり取りが
 がっこうじゅう ひろ おも
 学校中に広がると思います。

この取組をしてから、気持ちのいいあいさつが増えました。学校の
 お客さんにも友だちどうしもお家庭でも、地域でも気持ちのいい
 うれしいあいさつができる子どもたちに育ててほしいと思います。

